

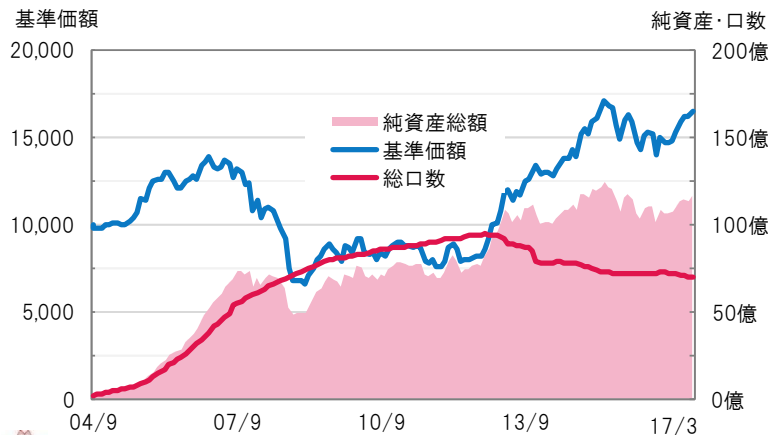
2017  
4月

# ありがとうファンド 月次運用レポート

第152号②【基準日 2017年3月31日】



## 基準価額の推移



## ファンドの情報

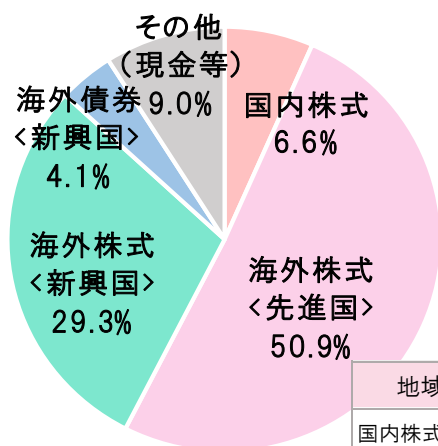
基準価額	16,560円
純資産総額	116億30百万円
口座数	4,741
積立割合	56.1%

## ファンドの騰落率

ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利	標準偏差
ありがとうファンド	+2.2%	+3.8%	+12.1%	+9.4%	+27.5%	+85.3%	+65.6%	4.09%	17.7
TOPIX配当込み	▲0.6%	+0.6%	+15.6%	+14.7%	+33.7%	+96.2%	+68.5%	4.23%	22.7
MSCI ACWI (世界、円)	+0.9%	+2.3%	+19.3%	+14.7%	+27.6%	+108.0%	+152.0%	7.62%	22.3
MSCI KOKUSAI (日本除く先進国、円)	+0.9%	+1.9%	+20.0%	+14.5%	+29.2%	+120.8%	+163.1%	7.99%	23.6
MSCI EM (新興国株、円)	+2.1%	+6.5%	+17.7%	+16.6%	+13.3%	+43.5%	+208.7%	9.37%	26.2

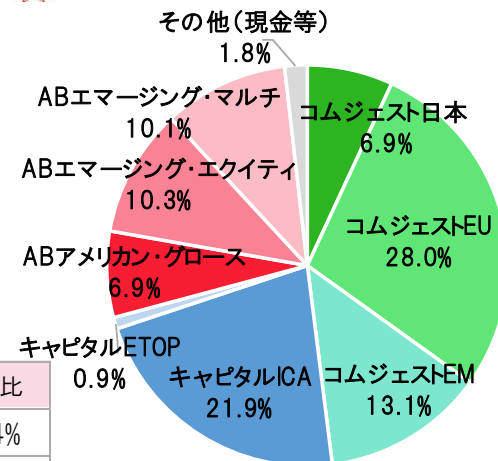
※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

## 資産配分(2月末時点)



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	6.6%	7%	-0.4%
海外株式<先進国>	50.9%	60%	-9.1%
海外株式等<新興国>	33.4%	28%	+5.4%
その他(現金等)	9.0%	5%	+4.0%

## ポートフォリオ(3月末時点)



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

直近のマーケット動向、ありがとうファンドについて



3月のマーケットはどうでしたか？

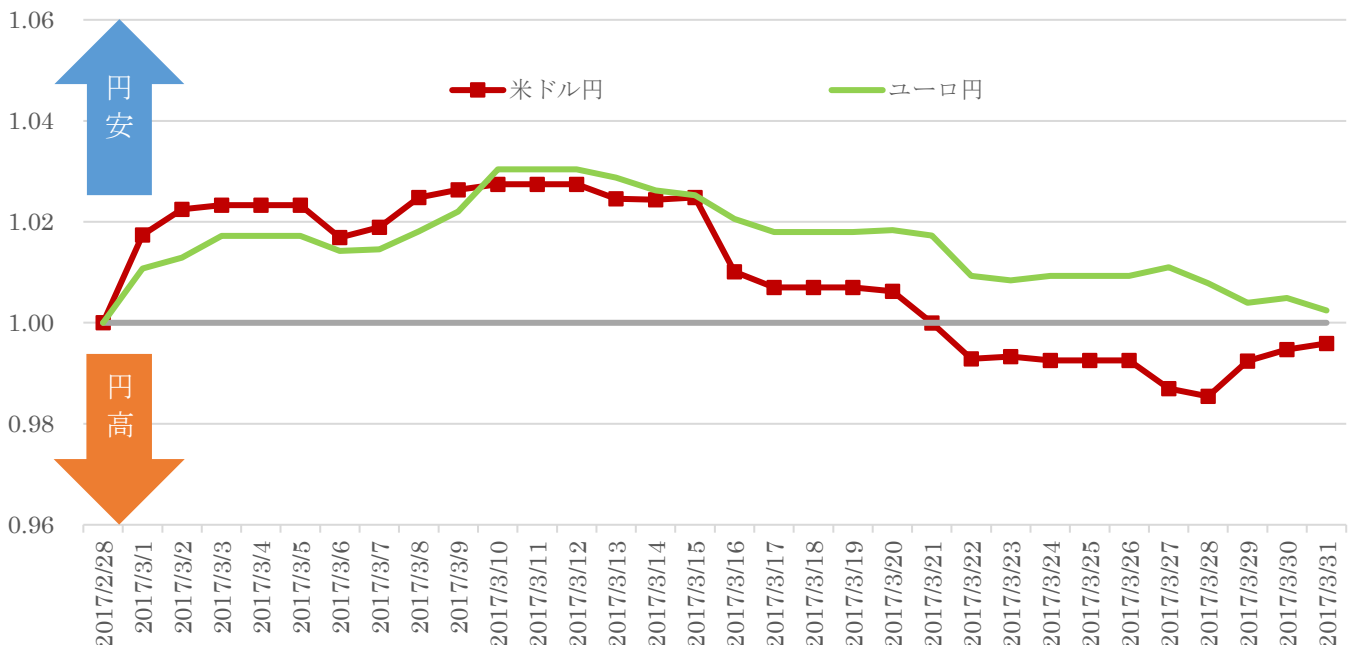
3月のマーケットの動きですが、前月まで牽引役だった米国株式市場がトランプ政権の経済政策運営に対する疑念が強まったことから、日米株式市場は調整しました。一方新興国と欧州市場については比較的堅調に推移した1ヶ月でした。月序盤では、FOMC(米連邦公開市場委員会)での追加緩和期待から、米長期金利が上昇し、円安・米ドル高で推移しました。月中盤では、予想通りに政策金利引き上げが決定されたものの、年内の利上げペースの加速が示唆されなかったこともあり、米長期金利が低下し、円高・米ドル高基調になりました。月終盤にかけては、オバマケアの見直しについて、代替法案が十分な支持を得られず、トランプ政権の政策先行きに対する疑念が強まり、米国株式市場を中心に調整する展開になりました。

月間の騰落率としては、TOPIX(配当込み)は0.59%の下落、米国 S&P500(配当込み)はドルベースで0.12%の上昇、欧州 MSCI ヨーロッパ(配当込み)はユーロベースで3.47%の上昇、新興国 MSCI エマージング(配当込み)はドルベースで2.55%の上昇となりました。

為替相場は月末時点で、米ドル/円が111円台前半、ユーロ/円が119円台前半となり、前月末比対米ドルではやや円高、対ユーロではやや円安にふれました。



【米ドル円、ユーロ円推移】2017年2月28日を1として指数化

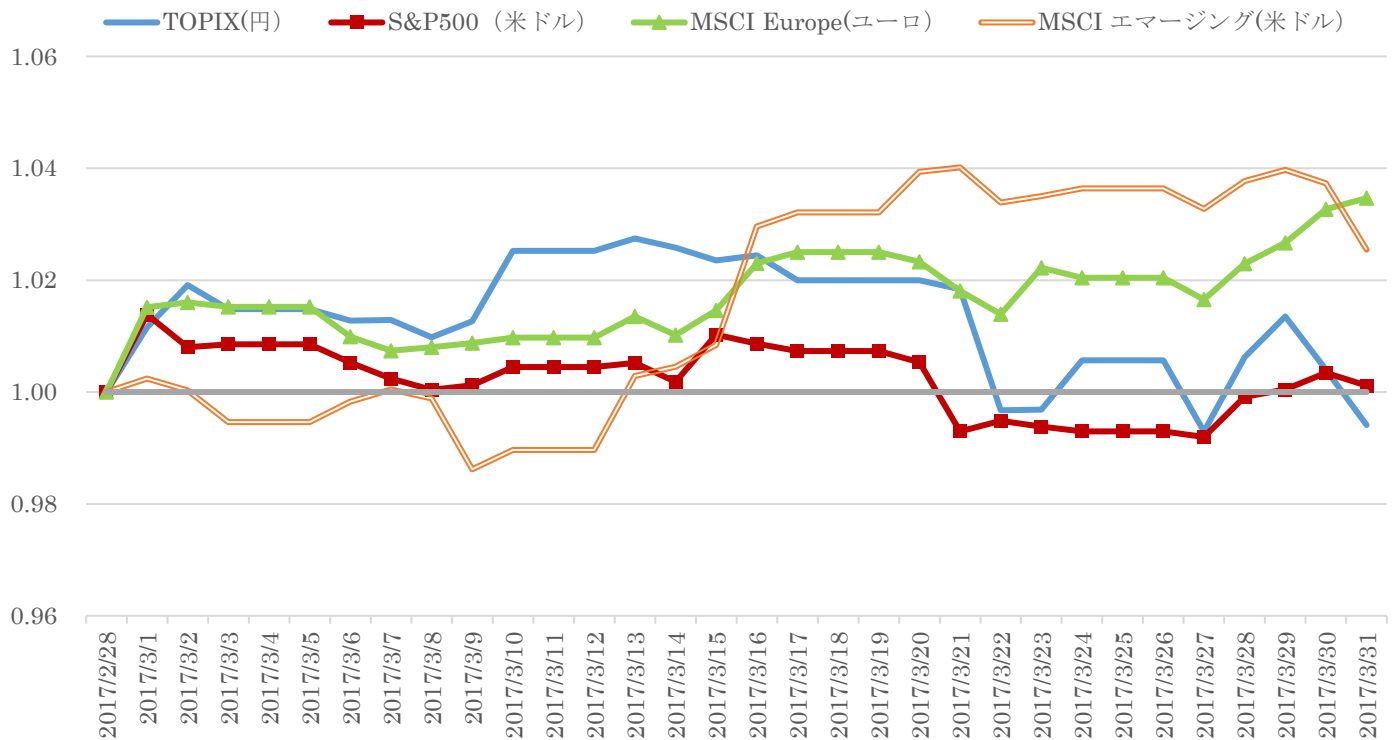


※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(レポート最終ページに注記があります。)

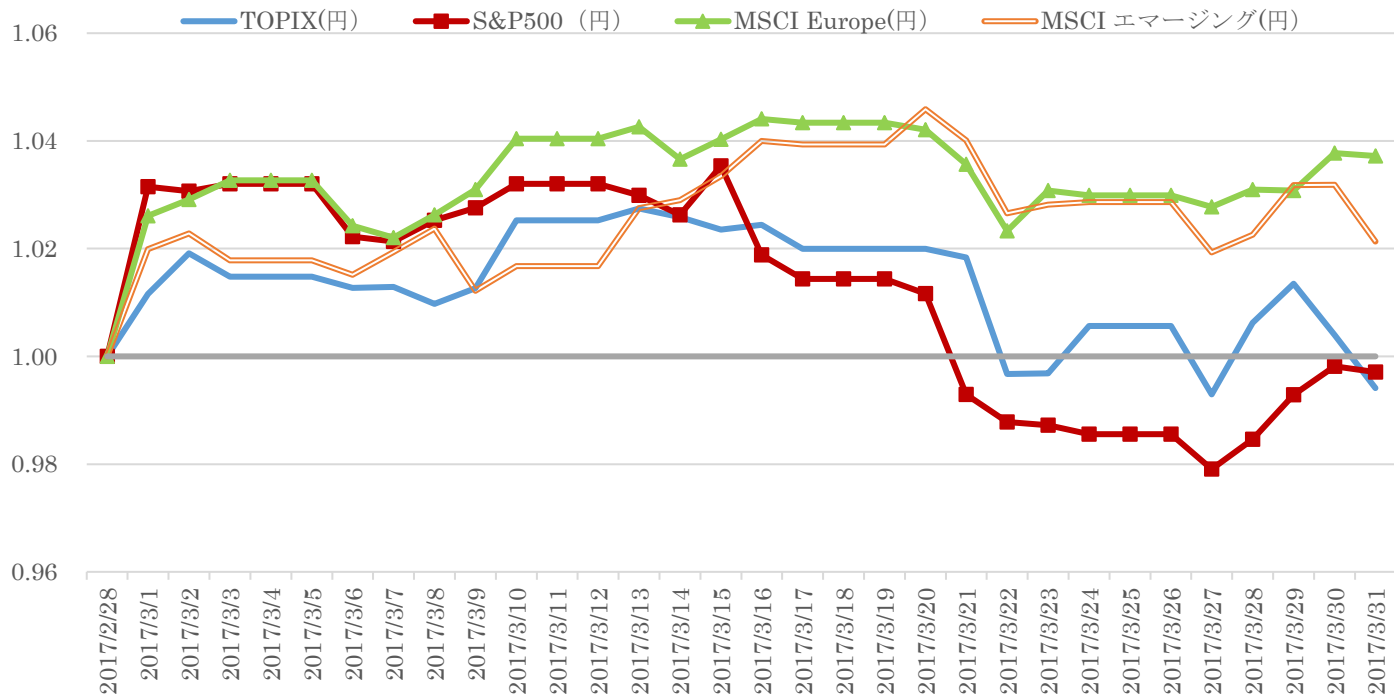
ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2017年2月28日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、円ベース)】2017年2月28日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照して頂くと、日本株と米国株のパフォーマンスが他地域に比べ相対的に低調にみえます。日本株式市場においてはドル円の水準が意識され、上値の重い1ヶ月でした。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

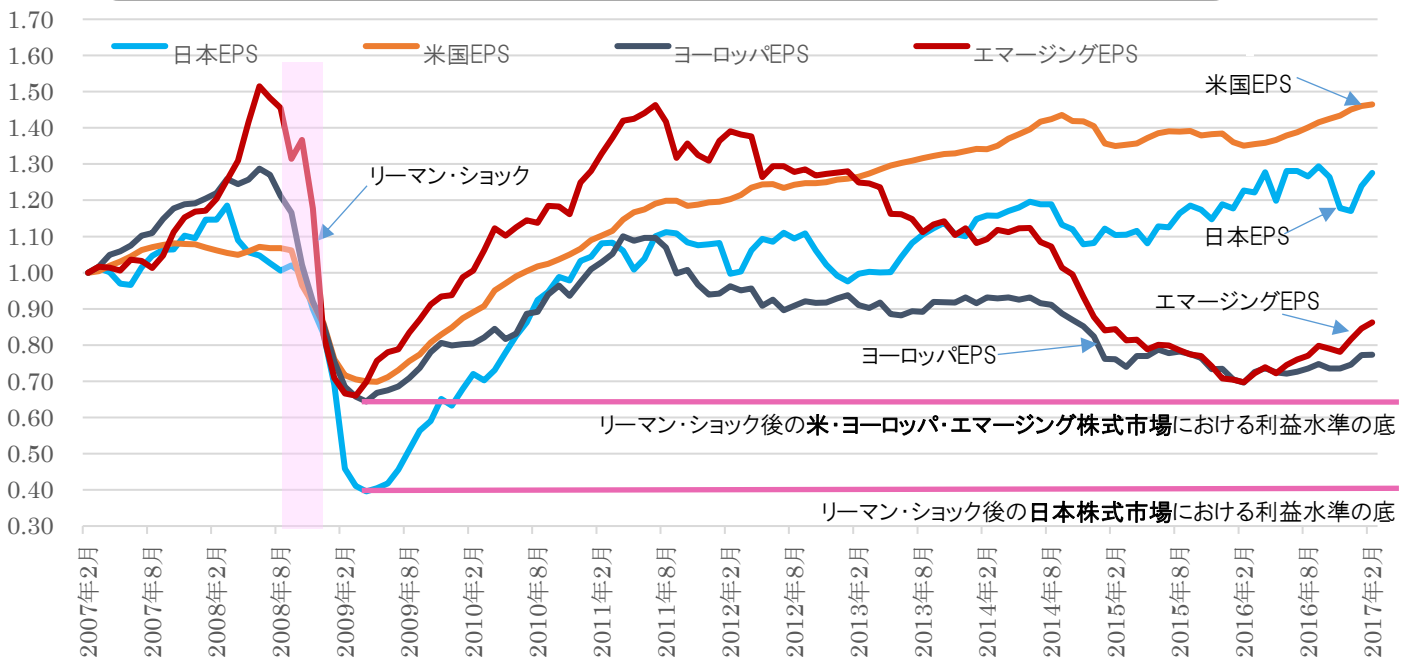
ありがとうファンドの3月月間騰落率は2.2%の上昇となりました。投資先ファンドでは、コムジェストヨーロッパファンド、コムジェストエマージングファンド、コムジェスト日本株式ファンド、AB アメリカン・グロースファンド、キャピタルICAファンドが各種参考指数(円ベース)に対しアウトパフォームしました。

3月中の売買状況については、国・地域別配分新基準値を意識して、やや保有割合が少なめになっていた米国株式市場を投資対象とする AB アメリカン・グロースファンドを買い増しました。



今後の見通しはどうなりそうでしょうか？

今後の見通しについては、トランプ大統領の動向に一喜一憂するのではなく、あくまでも長期投資の視点からファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長に沿った成長銘柄が見直される相場になると考えております。下図では、リーマン・ショック前からの4国・地域の EPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元5年ほど低迷していたエマージング市場と、ヨーロッパ市場は活気を取り戻しつつあります。こういった大きな流れはトランプ相場と言われる流行ものではないと考えております。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPSは2007年2月末を1として指数化

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針はどうなりそうでしょうか？

今後の運用方針についてですが、世界経済は Brexit、トランプ大統領の選出、イタリア国民投票の結果などを見るに、保護主義・ポピュリズムが台頭して、大きな変革期にあるように見えます。株式市場という観点から考えると、リーマン・ショック後、各国・地域は金融緩和で各々の経済・株式市場を支えて、各市場同じ方向に動く局面が多く見られましたが、保護主義が色濃くなってきた昨今では、ある意味各市場同士の相関が薄れ、分散効果が見られるようになってきました。このような環境下では、一つの市場だけに投資することは非常にリスクが高いと考えますので、特定の市場に偏ることなく幅広く分散投資することで、長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。その点、ありがとうファンドでは引き続き国際分散を推し進めることにより、世界経済の変革期に対応していきたいと考えております。

また、投資対象のファンドという観点からは、去年後半から金融関連銘柄といった景気敏感株の株価上昇が目立ちましたが、当ファンドではあくまでも長期投資を前提とし、長期で企業利益成長が見込まれる銘柄を発掘するファンドを厳選して投資を続けていきたいと考えております。投資対象国・地域についても、前ページのEPS 推移が示しているように、長く低迷していたエマージング市場、ヨーロッパ市場の企業利益改善にも注目しており、今後長期で伸びしろのある市場と考えております。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

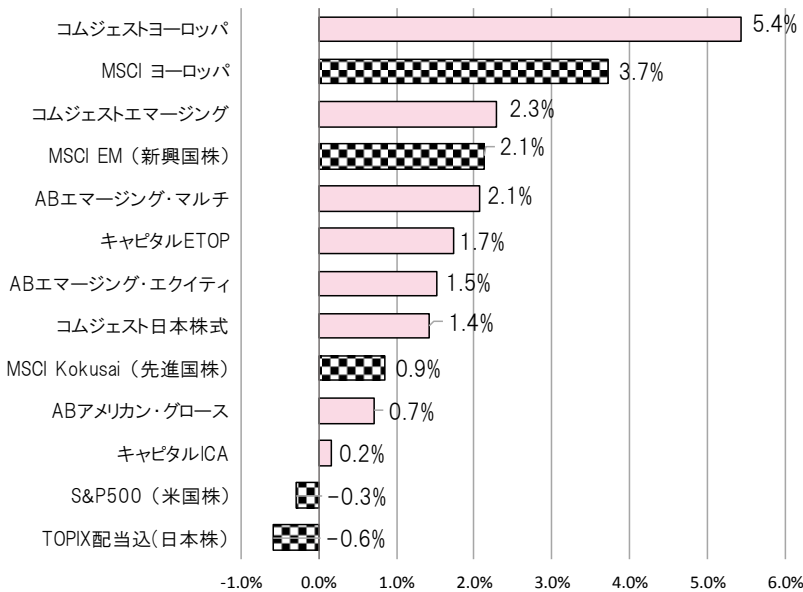


投資先ファンドの状況について教えてください。



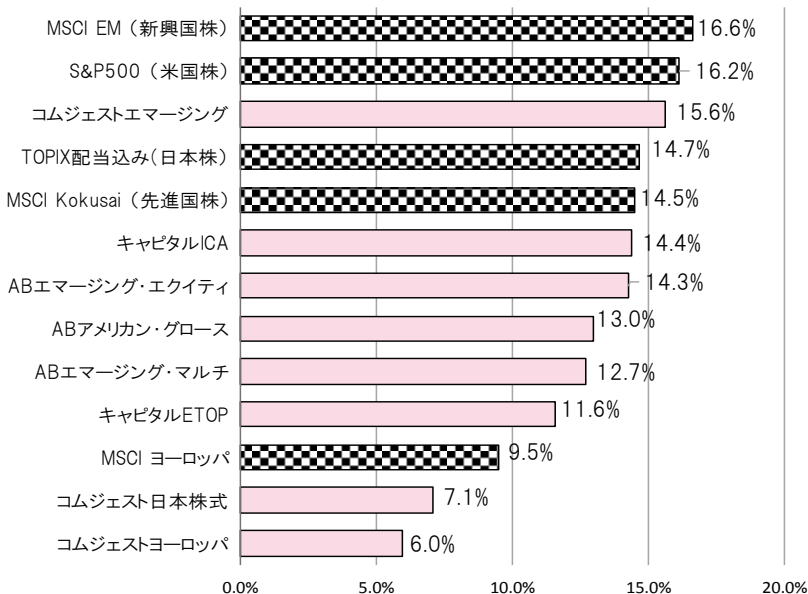
まずは下の投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2017年3月31日時点)

【月間騰落率】



月間騰落率については、コムジェストヨーロッパファンド、コムジェストエマージングファンド、コムジェスト日本株式ファンド、ABアメリカン・グロースファンド、キャピタルICAファンドが参考指数(円ベース)に対しアウトパフォームしました。コムジェスト3ファンド(グロース戦略)が大きく指数に対してアウトパフォームした月でした、これは市場がトランプ相場と呼ばれるバリュー相場(割安株が買われる相場)から、グロース相場(企業収益成長に沿って株価が成長する相場)への回帰が見られた1ヶ月でした。

【年間騰落率】



年間騰落率については、去年の今頃は原油安などからの資源銘柄安、またマイナス金利導入直後で銀行をはじめとする金融銘柄などの景気敏感銘柄が大きく下げて、一方足元のトランプラリーでは、そういった景気敏感株が買い戻された相場になったため、景気敏感株をほとんど保有しない当ファンドの年間騰落率は景気敏感も含む指数に対し低調なパフォーマンスになりました。

※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。(ありがとうファンド運用担当者)



## 投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジエスト日本株式	日本	6.9%	+1.4%	+3.1%	+10.5%	+7.1%			
	TOPIX 配当込み			▲0.6%	+0.6%	+15.6%	+14.7%	+33.7%	+96.2%	+14.2%
2	ABアメリカン・グロース	米国	6.9%	+0.7%	+4.9%	+19.4%	+13.0%	+54.4%	+159.6%	+20.6%
3	キャピタルICA (キャピタルUSGI)注	米国	21.9%	+0.2%	▲1.1%	+19.8%	+14.4%	+35.7%	+134.2%	+18.2%
	S&P500 (米国、円)			▲0.3%	+1.3%	+21.2%	+16.2%	+45.5%	+152.8%	+20.0%
4	コムジエスト ヨーロッパ	欧州	28.0%	+5.4%	+4.7%	+12.7%	+6.0%	+16.1%	+104.7%	+15.1%
	MSCI EUROPE (ヨーロッパ、円)			+3.7%	+2.8%	+18.0%	+9.5%	+5.2%	+83.4%	+12.7%
5	コムジエスト エマージング	エマージング	13.1%	+2.3%	+8.0%	+16.2%	+15.6%	+23.4%	+69.4%	+10.9%
6	ABエマージング ・エクイティ	エマージング	10.3%	+1.5%	+8.6%	+18.9%	+14.3%	+28.7%		
7	ABエマージング ・マルチ	エマージング	10.1%	+2.1%	+4.6%	+15.8%	+12.7%	+26.2%	+50.3%	+8.3%
8	キャピタルETOP	エマージング	0.9%	+1.7%	+2.9%	+16.1%	+11.6%	+9.5%	+43.3%	+7.3%
	MSCI EM (新興国株、円)			+2.1%	+6.5%	+17.7%	+16.6%	+13.3%	+43.5%	+7.4%

注1: 参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

注2: キャピタル USGI ファンドは 2016 年 6 月 17 日(投資先現地日付)をもって ICA ファンドに統合されましたので、2016 年 6 月 17 日より前の ICA ファンドの基準価額は存在しません。よって上記の運用パフォーマンスは 2016 年 6 月 17 日以降の ICA の基準価額を統合時点の両ファンドの基準価額で換算し、2016 年 6 月 17 日より前のキャピタル USGI ファンドの基準価額と比較できるよう調整をしています。

### 積立投資のメリット

- ◆ 取得単価を平準化
- ◆ 時間分散でリスクを低減
- ◆ 長期で投資を継続しやすい

## 各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジェスト日本株式ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄					3月31日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション=工場自動化)用センサーをはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	4.6%	
2 ファナック	日本	資本財・サービス	工作機械などに搭載されるCNC(コンピューター数値制御)装置の世界トップシェアメーカー。	4.5%	
3 ダイフク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	4.2%	
4 ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	カジュアル衣料専門店「ユニクロ」をグローバルに展開する。近年はアジアなど海外での店舗数拡大を加速	3.8%	
5 シスメックス	日本	ヘルスケア	血液検査、免疫血清検査、尿検査、生化学検査等に必要機器・試薬や、これらに関連するソフトウェアなどの研究開発から製造・販売・サービス & サポートまでを手がける臨床検査の総合メーカー。	3.7%	

◎ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄					3月31日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 INDITEX	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッション・アパレルのリーディングカンパニーの一つ	6.7%	
2 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.0%	
3 ESSILOR INTERNATIONAL	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	5.3%	
4 DASSAULT SYSTEMES SA	フランス	情報技術	フランスで最大、EUでもトップ3に入る規模の大手ソフトウェア会社	5.2%	
5 COLOPLAST-B	デンマーク	ヘルスケア	1957年にデンマークで誕生したグローバルヘルスケア企業、スローモーション製品に強み	4.7%	

◎ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA

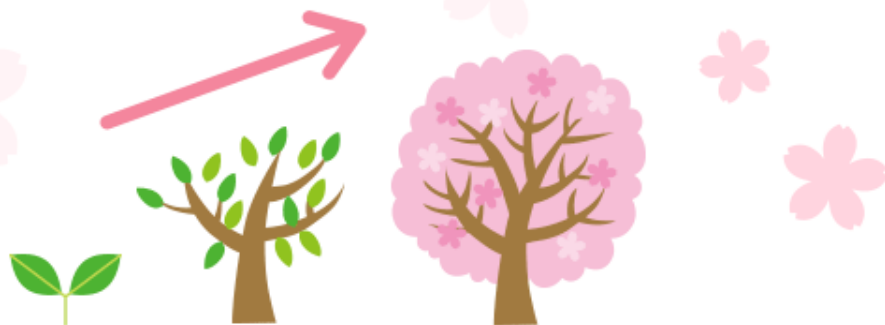
マザーファンド株式組入上位5銘柄					3月31日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 TAIWAN SEMI CONDUCTOR-SP ADR	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファンドリーメーカー	5.1%	
2 CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	金融	中国北京に本社を置く生命保険会社、中国各地に代理店網を形成	4.8%	
3 NETEASE INC ADR	中国	情報技術	オンラインゲームやインターネットサービスを手掛ける。オンラインゲーム事業、広告サービス事業、電子メール・無線付加価値サービス・その他事業の3事業を展開。	4.4%	
4 POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド	公益事業	インド内での送電事業、電気通信事業、送電通信コンサルティング事業を主とする企業	4.2%	
5 INFOSYS LTD-SP ADR	インド	情報技術	グローバル企業を対象に、コンサルティング、テクノロジー、アウトソーシングなどを通じて、顧客のビジネス・パフォーマンスを高めるためのソリューションを提供している。	3.6%	



弊社はありがとうファンド1つのみ!

お客様のペースに併せて

長期でじっくりお客様の資産を育てていきます



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



◎キャピタル・グループCA(旧キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム ファンド クラスZ)  
株式組入上位5銘柄

					2月28日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 AbbVie	アメリカ	ヘルスケア	研究・開発に重点的に取り組むバイオ医薬品会社。幅広い独自医薬品の発見、開発、製造、販売を行う。	4.1%	
2 AMGEN	アメリカ	ヘルスケア	DNA組換えや分子生物学的技術を軸とした世界的バイオ医薬品メーカー	3.2%	
3 PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC	アメリカ	生活必需品	世界180カ国以上でマール・ポロなどの製品を販売する最大のたばこメーカー	2.9%	
4 VERIZON COMMUNICATIONS	アメリカ	電気通信サービス	世界最大級の電気通信事業者、150カ国以上に展開、NYダウ30採用銘柄	2.2%	
5 ORACLE	アメリカ	情報技術	企業向けにソフトウェアやコンピュータ製品、そしてサービスを提供している。事業はソフトウェアとクラウド、ハードウェアシステム、サービスの3部門で構成。	2.1%	

◎キャピタル・グループ・エマージング・マーケット・トータル・オポチュニティーズ クラスZ

					2月28日時点
銘柄	国	種類	債券格付け、事業内容など	組入比率	
1 BRAZIL GOVERNMENT	ブラジル	債券	格付BB	5.9%	
2 UNITED MEXICAN STATES	メキシコ	債券	格付A	5.0%	
3 RUSSIA GOVERNMENT	ロシア	債券	格付BB	3.9%	
4 ARGENTINA GOVERNMENT	アルゼンチン	債券	格付B	3.8%	
5 INDIA GOVERNMENT	インド	債券	無格付	3.1%	

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ クラス受益証券

					2月28日時点
銘柄	国	種類	事業内容	組入比率	
1 ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	7.3%	
2 FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	テクノロジー	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	7.3%	
3 VISA, INC. Class A	アメリカ	金融サービス	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.9%	
4 BIOGEN, INC.	アメリカ	ヘルスケア	多発性硬化症(MS)、その他自己免疫疾患、神経変性疾患、血友病の治療薬の発見、開発、製造、販売に注力する世界的バイオテクノロジー企業。	4.9%	
5 APPLE, INC.	アメリカ	テクノロジー	モバイル通信機器、メディア機器、PC、携帯音楽プレーヤーの設計、製造、販売を手掛ける。	4.9%	

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ クラス株式

					2月28日時点
銘柄	国	種類	事業内容	組入比率	
1 ITAUSA INVESTIMENTOS ITAUSA	ブラジル	金融	サンパウロ証券取引所に上場している持ち株会社・コングロマリット。関連企業としては、金融業、建設業、化学製品・石油製品を営む企業などがある。	4.5%	
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	4.2%	
3 OPT BANK PLC	ハンガリー	金融	60年以上もの間ハンガリーの銀行部門における重要な役割を担ってきたおり、1989年からは複合的な商業銀行として業務を行っている。複数の子会社を通じてグローバルな金融サービスを提供している。	3.1%	
4 KB FINANCIAL GROUP INC.	大韓民国	金融	KB国民銀行、KB国民カード、KB 投資証券、KB生命、KB資産運用などの子会社を通じて、総合的金融サービスを提供する持株会社。	2.9%	
5 LUKOIL PJSC	ロシア	エネルギー	ロシア最大級の石油会社。石油の探鉱、生産、精製、マーケティング、流通に従事している。	2.7%	

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ クラス株式

					2月28日時点
銘柄	国	種類	債券格付け、事業内容など	組入比率	
1 JIANGSU EXPRESSWAY CO. LTD. Class H	中国	資本財	有料高速道路の投資、建設、運営、管理を手掛ける。付帯サービス部門では、道路沿いで、ガソリン供給、食品、飲料、自動車修理、宿泊施設、小売りといったサービスを手掛ける。	2.3%	
2 BRAZIL GOVERNMENT	ブラジル	債券	格付BB	2.3%	
3 KINGBOARD CHEMICAL HOLDINGS LTD.	香港	加工業	化学メーカー。子会社を通じ、ラミネート、銅箔、ガラス布、ガラス糸、さらしクラフト紙、プリント回路基盤、その他化学品を製造する。	2.3%	
4 NOVOLIPETSK STEEL PJSC	ロシア	素材	垂直統合型の鉄鋼メーカー。建設、機械製造から、発電設備、海上風車メーカーまで、さまざまな業種で使用される各種平鋼・長尺鋼製品を製造する。	1.9%	
5 CHONGQING RURAL COMMERCIAL BANK CO. LTD. Class H	香港	金融	銀行業務と金融サービスを提供。コーポレートバンキング部門、パーソナルバンキング部門、トレジャー・オペレーション部門の3部門を通じて事業を展開。	1.7%	

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうピックス

『株価は企業利益の成長性を織り込む:サムスン電子』



ありがとう投信株式会社  
ファンドマネージャー 真木 喬敏

皆様、いつも大変お世話になっております。投資セミナーなどで株価は企業利益の成長性を織り込むとよく耳にしますが、今回は当ファンド投資銘柄のサムスン電子を例にとって具体的に説明させていただきます。

さて、サムスン電子については何を販売している企業か説明する必要もないかと思いますが、なんといっても最近様々ニュースで世間を騒がせた企業でしたので、あまりよくない印象を持たれる方が多いかもしれません。去年8月に販売を開始したスマートフォン Galaxy Note7は、発売直後から使用時に発火するなどの不具合が発生し、9月には各航空会社へ持ち込みの禁止要請が出されて、ニュースでも大きく取り上げられました。結果、10月には生産終了になりました。また、今年年初からは、同社トップの逮捕など、逆風続きの会社といった印象です。

さて、いきなりですが皆様に質問です。下の①、②グラフはサムスン電子と同業他社の株価推移を表しています(2016年1月1日～2017年4月7日)。どちらがサムスン電子か考えてみてください。

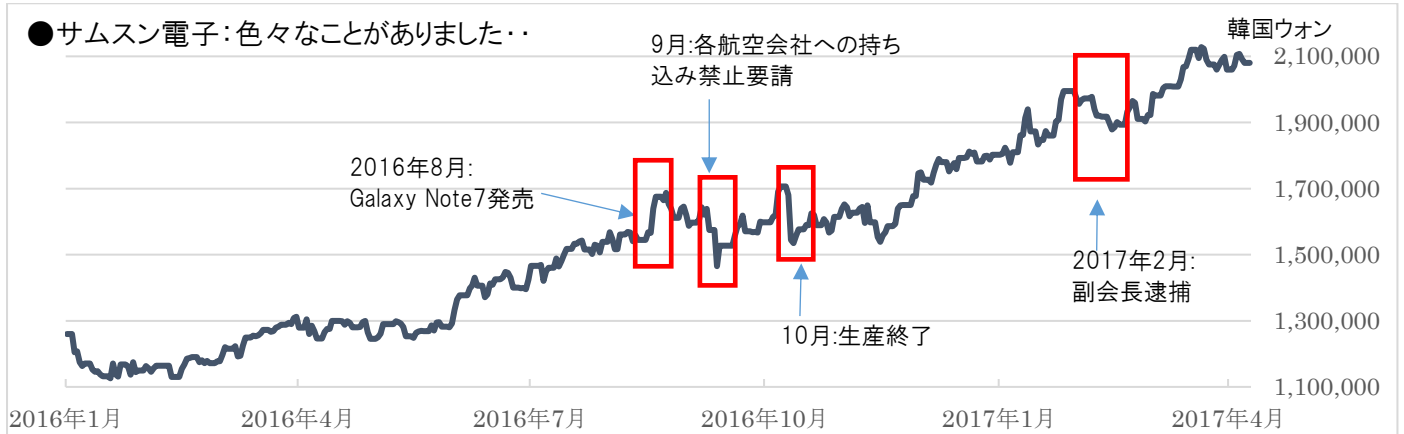


出所:ファクトセット

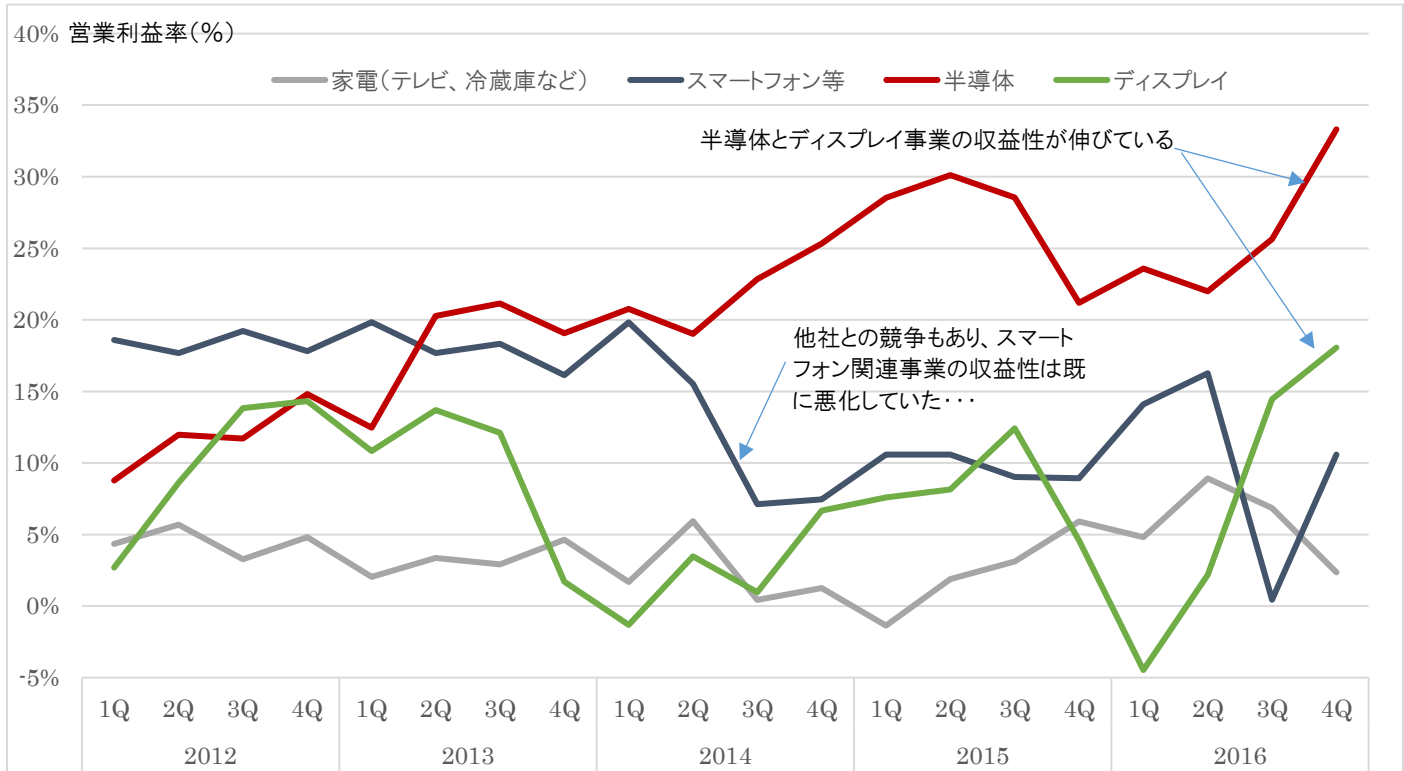
ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

正解は②でした。皆さん当たりましたでしょうか？スマートフォン発火、トップ逮捕とネガティブなニュースをよく耳にしていただけあって、意外に思われた方も多いと思います。確かにこれらの報道がされた際には株価を下げたこともありましたが、市場はこれら突発的なイベントとは別に、同社の長期的な成長戦略に注目していたため下げ幅は限定的で、逆に買いのチャンスとして捉えられているように見えました。



サムスン電子といえば、スマートフォンありきと思われがちですが、市場の注目している成長分野は他にあります。それは、半導体事業とディスプレイ事業です。ビッグデータの活用や災害時に企業のデータをバックアップとして保存するなど、近年データセンターなどにおいて、半導体メモリの需要は世界的に増加傾向にあります。また、あらゆるモノがネットにつながるIoT市場向けの需要も足元拡大してきています。同社はDRAMやNAND型フラッシュメモリといった代表的なメモリの分野で世界シェア首位という強みがあり、3D NANDと呼ばれる新しいタイプでは立体構造での設計が可能になり、データの保存容量はさらに増えています。



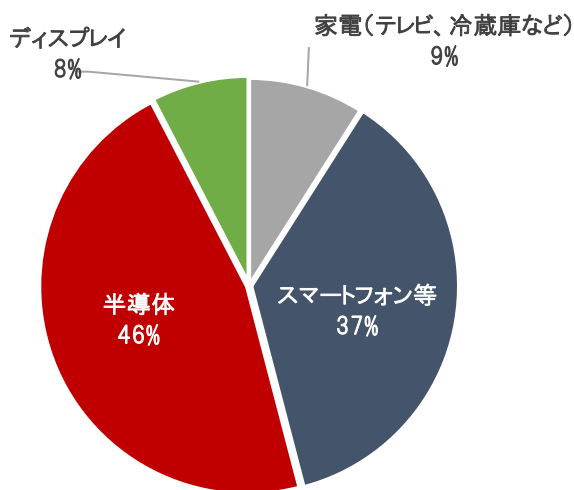
出所:会社資料より、ありがとう投信計算・作成

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ディスプレイ事業では、フレキシブル有機ELディスプレイといった折り曲げることが可能な画面などの開発をしています。特に、次世代のスマートフォンなどへの採用が期待されています。こういった技術は他社でも開発が進められていますが、同社の強みは多額の研究開発費を早くからこういった新成長分野へ投資し、多くのパテント(特許)を保有しているところにあります。確かにスマートフォン等事業の稼ぎが同社利益の大半を稼いでいた時代はありました。しかしながら、儲かる事業というのは大抵競合他社も注目しているもので、競争は避けられません。その結果、最後は価格競争になり、収益性を大きく下げることになります。別にこれ自体は悪い事ではありません。なぜなら競争のおかげで、我々消費者は高性能の製品を安値で手に入れることができるからです。しかし投資家、特に長期投資家としては、長期で継続的な企業利益の向上を実現する企業に投資を前提としているので、一過性の稼ぎでは投資対象にならないのです。同社については、稼いだお金を現金のまま眠らせて置くのではなく、次の成長事業に投資する姿勢が投資家に評価され、底堅い株価として織り込まれてきたと考えております。

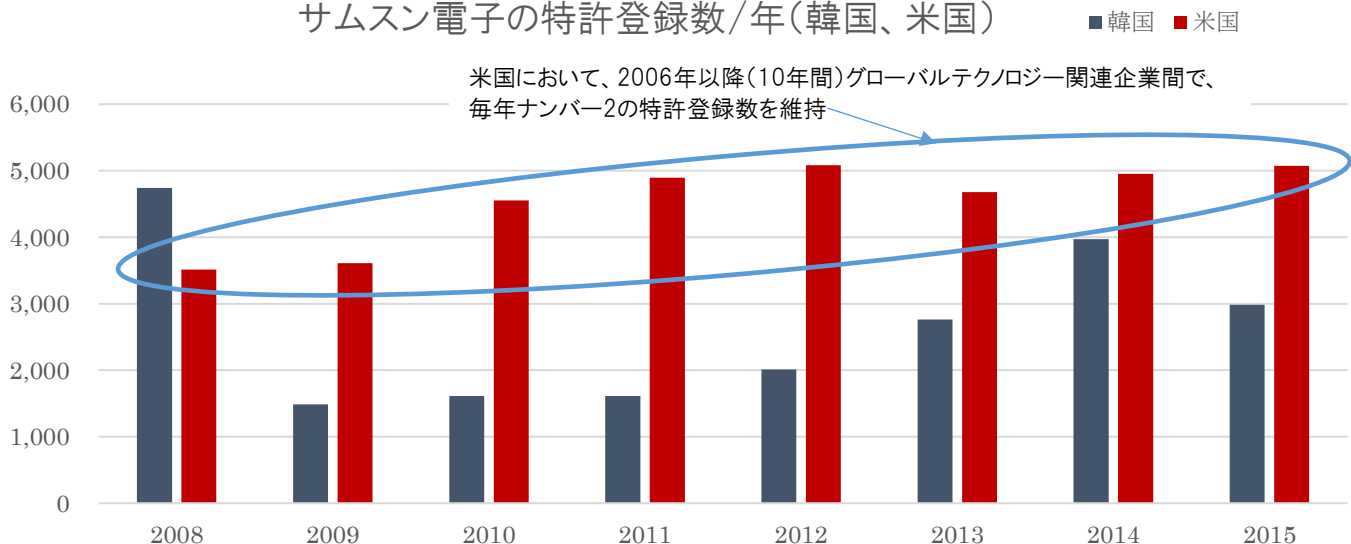
主要事業別営業利益(2016)



フレキシブルディスプレイ



サムスン電子の特許登録数/年(韓国、米国)



出所: 会社資料より、ありがとう投信計算・作成

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ところで、冒頭グラフ①の株価推移はどの会社か見当つきますでしょうか？一応比較対象として記載したので、サムスン電子と全く関係のない会社ではありません。サムスン電子の成長事業を牽引する DRAM、NAND 型フラッシュメモリー業界にて同社に次いで世界シェア第2位の東芝です(注:当ファンドでは東芝には投資していません)。米原発事業の巨額損失で陥った債務超過状態から脱却する手段として、半導体メモリー事業を「東芝メモリ」と分社化したうえで、株式の半数以上を売却するとの事ですが、成長分野の半導体メモリー事業の利益貢献を失った東芝に何が残るのでしょうか？株価はなにも成長だけを織り込むものではありません、もちろん収益性が見通しが立たない、また長期的な成長戦略が無いのであれば、それも容赦なく織り込みます。結論は冒頭の二つのグラフを見れば明らかでしょう。冒頭述べました「株価は企業利益の成長性を織り込む」といった教科書的なコンセプトを少しでも実感頂けたら幸いです。

◆記載内容について：資料に記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

### ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972%(税抜 0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.7%±0.25%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒110-0005 東京都台東区上野 3-19-4 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。